

令和 8 年 刊 行

消 防 年 報



《由布市 市章》

由布市消防本部

は じ め に

この年報は、由布市消防本部の現勢と令和８年中の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介し理解と協力を得るために編集したものです。

なお、この年報の統計資料は原則として暦年をもって表し、予算に関する事項については会計年度で表し、それ以外の資料については、当該表にそれぞれ記載した年月日は現在をもって表しています。

令和 ８ 年 ９ 月

由 布 市 消 防 本 部

目 次

《管内概況》	4
(1) 由布市の概要	5
(2) 管内位置図	6
(3) 管内配置図	7～9
(4) 由布市の面積・人口及び世帯数	10
(5) 由布市の人口及び世帯数の推移	10
《沿革》	11
(1) 大分地域消防組合消防本部の沿革	12～15
(2) 由布市消防本部の沿革	16～18
《総務編》	19
(1) 組織構成	20
(2) 歴代市長・消防長・消防署長	21
(3) 消防本部・署の事務分掌	22
①消防本部	22～24
②消防署	24
(4) 消防庁舎の現況	25
(5) 職員の定数・実員及び配置表	26
(6) 職員の階級別年令状況	26
(7) 職員特殊技能資格取得状況	27
(8) 教育研修等の実施状況	28
(9) 消防予算の概要	29
由布市消防団	30
(1) 歴代消防団長	30
(2) 組織概要図	30
(3) 所管地区一覧	31
(4) 消防団員の条例定数及び実数	32
(5) 在籍年齢別消防団員数	32
(6) 年齢別消防団員数・割合・平均年齢	32
(7) 消防団員実員数推移	33
(8) 消防車両・ポンプ配置状況	33
《警防編》	34
(1) 火災	35
①火災概況	35
②町別火災概要	36
③火災発生状況	37
④5年間の火災発生比較	38
⑤由布市火災統計表一覧	39
(2) 救急	40
①救急概況	40
②署所別出場件数	41
③救急出場時における各所要時間	42

④曜日別・月別救急出場件数	4 3
⑤時間別出場件数	4 4
⑥過去10年間の出場件数の推移	4 4
⑦過去5年間救急出場件数	4 5
⑧事故種別・医療機関別搬送人員	4 6
⑨事故種別・年齢区分別・傷病程度別搬送人員	4 7
⑩事故別応急処置状況	4 8
⑪住民に対する応急手当普及啓発活動の実施状況	4 9
(3) 救助活動状況	4 9
(4) 消防装備	5 0
①消防車両保有状況	5 0
②消防車両配置状況	5 0
③消防水利状況	5 1
(5) 防火クラブ結成状況	5 2
①幼年消防クラブ	5 2
②少年消防クラブ	5 2
③女性防火クラブ	5 2
《予 防 編》	5 3
(1) 防火対象物関係	5 4
①町別防火対象物数	5 4
②建築確認申請件数	5 5
③予防届出事務処理状況	5 5
④防火対象物立入検査実施状況	5 5
⑤防火対象物定期点検報告等の実施状況	5 6
(2) 火薬類関係	5 7
①町別火薬類許認可(煙火消費)事務処理状況	5 7
(3) 危険物関係	5 7
①町別危険物施設数	5 7
②数量別危険物施設数	5 8
③危険物関係事務処理状況	5 9
④危険物関係立入検査実施状況	5 9

管 内 概 況

(1) 由 布 市 の 概 要

(2) 管 内 位 置 図

(3) 管 内 配 置 図

(4) 由布市の面積・人口及び世帯数

(5) 由布市の人口及び世帯数の推移

(1) 由布市の概要

◎位置と地勢

由布市（平成 17 年 10 月 1 日に旧挾間町・旧庄内町・旧湯布院町が合併）は、大分県の中央部に位置し、総面積は 319.32 km²である。北は別府市、宇佐市に、西は玖珠郡玖珠町・九重町に、南は竹田市に、東は大分市に隣接している。

温泉地として全国的に名高い由布院温泉を擁する観光地である一方、大分市のベッドタウンとしての役割も併せ持っている。

市の北部には、大分自動車道が旧湯布院町と旧挾間町を通り、国道 210 号線が旧 3 町のほぼ中央を通っている。また、旧庄内町と旧湯布院町の一部の地域は阿蘇くじゅう国立公園の指定を受けている。由布市の地勢的条件を整理すると次のようになる。

- ①北部と南部に 1,000m級の山地や山麓に囲まれる扇状地と平野に市街地が広がる。
- ②活火山・断層等が分布する地殻活動が活発な地域である。
- ③保安林、自然公園等に指定され、自然環境に恵まれている。

◎地形・水系

北部には由布岳、城ヶ岳、伽藍岳、立石山、西部には野稻岳、南部には黒岳などの標高 1,000mを越える高い山が連なり、それらを源として由布川、小挾間川、阿蘇野川などが市の中央部を西から東に流れる大分川に合流している。これらの河川は扇状地を形成し、そこから東に平野部が開けている。

◎人口・世帯数

（基準日 令和 8 年 3 月 31 日現在）

人 口 （ 人 ）		世 帯 数 （ 世 帯 ）
33,444	男 16,028	16,503
	女 17,416	

◎人口及び世帯数の推移

（基準日 令和 8 年 3 月 31 日現在）

年 区 分	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	令和 8 年
人 口	33,450	33,531	33,575	33,444
世 帯 数	15,698	16,033	16,462	16,503

(2) 管内位置図
九州の中の大分県



大分県の中の由布市

東西方向 24.7km / 南北方向 23.4km



(3) 管内配置図



凡例

- ◎ 市庁舎
- 消防署・出張所

消防庁舎所在地

名 称	所 在 地	構 造	階 数	延べ面積
由布市消防本部 由布市消防署	由布市挾間町 挾間 278 番地	鉄筋コンクリート造	2 階建	1,825.52㎡
庄 内 出 張 所	由布市庄内町 柿原 306 番地 1	鉄骨造	2 階建	710.46 ㎡
湯 布 院 出 張 所	由布市湯布院町 川上 3066 番地 1	鉄筋コンクリート造	2 階建	497.55 ㎡

由布市消防本部
由布市消防署



由布市消防署 庄内出張所



由布市消防署 湯布院出張所



(4) 由布市の面積・人口及び世帯数

(基準日 令和8年3月31日現在)

町名 \ 区分	面 積	人 口 (人)			世帯数 (世帯)
挾間町	51.10	17,726	男	8,477	7,674
			女	9,249	
庄内町	140.29	6,300	男	3,012	3,438
			女	3,288	
湯布院町	127.93 ※	9,418	男	4,539	5,391
			女	4,879	
合 計	319.32 ※	33,444	男	16,028	16,503
			女	17,416	

※ 境界一部未定のため、参考値

(5) 由布市の人口及び世帯数の推移

(基準日 令和8年3月31日現在)

年		令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
町名 \ 区分					
挾間町	人口	17,273	17,438	17,552	17,726
	世帯数	7,197	7,349	7,535	7,674
庄内町	人口	6,707	6,567	6,441	6,300
	世帯数	3,477	3,455	3,463	3,438
湯布院町	人口	9,470	9,526	9,582	9,418
	世帯数	5,024	5,229	5,464	5,391
合 計	人口	33,450	33,531	33,575	33,444
	世帯数	15,698	16,033	16,462	16,503

沿 革

(1) 大分地域消防組合消防本部の沿革

- 昭和 47 年 9 月 ・ 大分地域広域市町村圏事務局（大分市役所内）で事務を開始
- 昭和 48 年 7 月 ・ 大分地域消防組合設立委員会準備事務局を挾間町役場内に設置
- 11 月 ・ 大分地域消防組合設立委員会を設置
- 昭和 49 年 4 月 ・ 大分郡 4 町に対し、消防組織法第 10 条に基づく消防本部及び消防署の政令指定を受ける
- 5 月 ・ 大分地域消防組合の設置許可を県知事より受ける
- ・ 大分地域消防組合議会臨時議会招集
- 8 月 ・ 大分地域消防組合議会第 1 回定例会開催
- ・ 大分地域消防組合規約制定
- 10 月 ・ 消防職員 54 名採用
- 12 月 ・ 県消防学校初任科（第 20 期）に 27 名入校
- 昭和 50 年 1 月 ・ 野津原出張所・庄内出張所庁舎完成
- 2 月 ・ 県消防学校初任科（第 21 期）に 27 名入校
- ・ 本部及び本署庁舎完成
- 3 月 ・ 湯布院出張所庁舎完成
- ・ 消防専用超短波無線電話装置完成
- 4 月 ・ 大分地域消防組合消防本部発足（職員数 60 名）
- ・ 消防本部（署）・野津原出張所・庄内出張所・湯布院出張所を設置
- ・ 本署に消防ポンプ自動車及び救急車を配置
- ・ 野津原出張所に消防ポンプ自動車を配置
- ・ 庄内出張所に消防ポンプ自動車を配置
- ・ 湯布院出張所に水槽付消防ポンプ自動車及び救急車を配置
- ・ 大分県中部地震発生（消防職員・消防団員延べ人員 700 名出動）
- 10 月 ・ 消防職員 1 名退職
- 昭和 51 年 3 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 60 名）
- ・ 大分県常備消防相互応援協定締結 15 本部
- 12 月 ・ 職員定数条例改正で定数 63 名となる
- 昭和 52 年 4 月 ・ 消防職員 3 名採用（職員総数 63 名）
- 昭和 53 年 1 月 ・ 野津原出張所の消防ポンプ自動車を更新
- 3 月 ・ 野津原出張所に救急車を配置
- ・ 日本損害保険協会から救急車の寄贈を受け、庄内出張所に配置
- ・ 第 1 回防火管理者講習会実施（修了者数 128 名）
- 4 月 ・ 職員定数条例改正で定数 64 名となる
- ・ 職員 1 名役場復帰（庄内町）消防職員 2 名採用（職員総数 64 名）
- 昭和 54 年 3 月 ・ 大分地域消防組合規約改正
- 4 月 ・ 管理課を設置、課長を置く
- 昭和 55 年 5 月 ・ 本部に広報車を配置
- ・ 消防職員 1 名退職
- 8 月 ・ 本署の救急車を更新

- 9 月 ・ 消防職員 1 名退職
- 11 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 63 名）
- 昭和 56 年 3 月 ・ 消防職員 1 名退職
- 4 月 ・ 消防職員 2 名採用（職員総数 64 名）
- 5 月 ・ 「野津原町太田婦人防火クラブ」結成（37 名）
- 10 月 ・ 救助訓練塔建設（高さ 16m・工事費 1,590 千円）
- 11 月 ・ 「庄内町立西庄内小学校少年消防クラブ」結成（72 名）
- 昭和 57 年 5 月 ・ 大分県企業局から指令車の寄贈を受け、本部に配置
- ・ 大分県企業局から連絡車の寄贈を受け、湯布院出張所に配置
- ・ 大分県企業局から救急車の寄贈を受け、湯布院出張所に配置
- ・ 旅館、ホテル等にかかる表示制度実施
- 8 月 ・ 挾間町（株）挾栄生コンからラッパ寄贈。
- ・ 消防署ラッパ隊結成（隊員 7 名）
- 昭和 58 年 3 月 ・ 大分市消防本部と直通電話設置
- 5 月 ・ 野津原出張所と庄内出張所に連絡車配置
- 昭和 59 年 3 月 ・ 「ひばり保育園幼年消防クラブ」結成（90 名）
- 6 月 ・ 「野津原保育所幼年消防クラブ」結成（53 名）
- ・ 「挾間保育所幼年消防クラブ」結成（29 名）
- ・ 「宮田保育園幼年消防クラブ」結成（57 名）
- 8 月 ・ 第 3 回防火管理者講習会実施（修了者数 71 名）
- 9 月 ・ 消防職員 1 名退職
- 10 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 64 名）
- 11 月 ・ 大分地域消防組合発足 10 周年記念式典実施
- 昭和 60 年 1 月 ・ 本部、湯布院出張所庁舎の防水工事を施工
- 11 月 ・ 「聖愛保育園幼年消防クラブ」結成
- ・ 「すみれ保育園幼年消防クラブ」結成
- 昭和 61 年 1 月 ・ 本署に水槽付消防ポンプ自動車を設置
- ・ 庄内出張所の救急車を更新
- 4 月 ・ 職員 2 名人事交流実施
- ・ 本部機構改革（庶務課・警防課・予防課の 3 課とする）
- 6 月 ・ 「ひばり保育園婦人防火クラブ」結成
- 8 月 ・ 日本防火協会から指令広報車の寄贈を受け、本部に配置
- 9 月 ・ 「あなみ保育園幼年消防クラブ」結成
- 10 月 ・ 第 2 回全国婦人消防隊ポンプ操法大会に県代表として野津原町
太田婦人消防隊が出場（優良賞）
- 昭和 62 年 2 月 ・ 日本損害保険協会から救急車の寄贈を受け、野津原出張所に
配置
- 10 月 ・ 庄内出張所の消防ポンプ車を更新
- 昭和 63 年 3 月 ・ 消防職員 1 名退職 1 名役場復帰（湯布院町）
- 4 月 ・ 1 名人事交流 消防職員 2 名採用（職員総数 64 名）
- 10 月 ・ 大分県地震対策総合防災訓練実施（挾間町）
- ・ 「西庄内保育所幼年消防クラブ」結成
- 平成 元年 4 月 ・ 第 5 回防火管理者講習会実施（修了者数 86 名）
- 7 月 ・ 大分自動車道別府 IC～湯布院 IC 間（23.9 k m）開通

- ・高速自動車道等における消防相互応援協定締結 2 本部
- ・湯布院出張所高速道開通に伴う消防業務開始（湯布院 IC～別府 IC 間下り線）
- 12 月 ・湯布院出張所の水槽付ポンプ自動車更新
- 平成 2 年 1 月 ・湯布院町湯平で大火（住宅・店舗・倉庫等 12 棟全半焼）
- 3 月 ・消防職員 1 名退職
- 4 月 ・消防職員 1 名採用（職員総数 64 名）
- 5 月 ・湯布院出張所の救急車を更新
- 平成 3 年 3 月 ・消防職員 1 名退職
- 4 月 ・消防職員 1 名採用（職員総数 64 名）
- 10 月 ・全国婦人消防隊ポンプ操法大会に県代表としてひばり保育園婦人消防隊が出場（優良賞）
- 12 月 ・消防無線中継局を野津原町塚の山から野津原町上詰へ移設
- 平成 4 年 3 月 ・消防職員 1 名退職
- 4 月 ・消防職員 1 名採用（職員総数 64 名）
- 12 月 ・大分自動車道別府 IC～大分 IC 間（14.8 km）開通
- ・高速自動車道等における消防相互応援協定締結
- 平成 5 年 1 月 ・消防職員 1 名退職
- 2 月 ・野津原出張所に水槽付ポンプ自動車を配置
（消防ポンプ自動車本署へ配置し、本署消防ポンプ自動車は廃車）
- 3 月 ・消防職員 1 名退職
- 4 月 ・消防職員 2 名採用（職員総数 64 名）
- ・「医大ヶ丘 3 丁目婦人防火クラブ」結成（17 名）
- 平成 6 年 8 月 ・第 7 回防火管理者講習会実施（修了者数 66 名）
- 10 月 ・全国婦人消防操法大会でひばり保育園婦人消防隊優勝
- 12 月 ・大分自動車道日出 JCT～速見 IC 間（3.3km）開通
- ・高速自動車道等における消防相互応援協定締結 5 本部
- 平成 7 年 1 月 ・大分県高速自動車道等消防連絡協議会発足 6 本部 4 機関
- 3 月 ・野津原出張所、庄内出張所、湯布院出張所の連絡車を更新
- ・職員定数条例改正で職員定数 68 名となる
- 4 月 ・消防職員 4 名採用（職員総数 68 名）
- 12 月 ・大分地域消防組合発足 20 周年記念式典実施
- 平成 8 年 2 月 ・野津原出張所の救急車を更新
- 3 月 ・大分自動車道九重 IC～湯布院 IC 間（12.3 km）開通
- ・高速自動車道等における消防相互応援協定締結 6 本部
- 10 月 ・大分自動車道大分 IC～米良 IC 間（7.9 km）開通に伴い消防相互応援協定に関する覚書の一部修正
- 平成 9 年 7 月 ・九州地区消防技術大会出場（佐世保市）
- 10 月 ・庄内出張所の消防車を更新（ポンプ車を水槽付ポンプ車）
- 平成 10 年 7 月 ・職員定数条例改正で職員定数 69 名となる
- ・消防指令広報車を更新（消防本部 大消挾間 4 号）
- ・九州地区消防技術大会出場（日向市）
- 10 月 ・救急救命九州研修所 1 名入校
- 平成 11 年 3 月 ・消防職員 1 名退職 職員 1 名役場復帰（挾間町）

- 4 月 ・ 消防職員 3 名採用（職員総数 69 名）
- ・ 大分県防災航空隊へ消防職員 1 名派遣
- ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- 平成 12 年 3 月 ・ 湯布院出張所の救急自動車を更新
- 7 月 ・ 消防指令車を更新（消防本部 大消挾間 7 号）
- ・ 九州地区消防技術大会出場（熊本市）
- 10 月 ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- 平成 13 年 2 月 ・ 第 1 回普通救命講習実施
- 3 月 ・ 本署の救急自動車を更新
- ・ 消防職員 1 名退職
- ・ 大分県防災航空隊派遣職員職場復帰
- 4 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 69 名）
- ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- 7 月 ・ 庶務課を総務課に課名変更
- 8 月 ・ 庄内出張所の救急自動車を更新
- 平成 14 年 2 月 ・ 消防用設備自己点検指導員 1 名採用
- 3 月 ・ 消防職員 1 名退職
- 4 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 69 名）
- ・ 消防用設備自己点検指導員 1 名採用
- 8 月 ・ 九州地区消防技術大会出場（大分市）
- 9 月 ・ 第 1 回救急医療・消防連携大規模演習（湯布院町総合グラウンド）
- 10 月 ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- 平成 15 年 7 月 ・ 九州地区消防技術大会出場（佐賀市）
- 10 月 ・ 救急救命九州研修所に 1 名入校
- 平成 16 年 1 月 ・ 本署水槽付ポンプ自動車更新
- 4 月 ・ 救急救命九州研修所に 1 名入校
- 9 月 ・ 第 2 回救急医療・消防連携大規模演習（挾間町中須賀グラウンド）
- 11 月 ・ 高速自動車道総合防災訓練実施
- 12 月 ・ 野津原町が大分市と市町村合併により職員 13 名転出
- ・ 早期退職者 1 名
- 平成 17 年 1 月 ・ （職員総数 55 名）
- 3 月 ・ 違反建築パトロール（大分土木事務所と合同）
- 4 月 ・ 消防職員 1 名採用（職員総数 56 名）
- ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- 7 月 ・ 九州地区消防技術大会出場（佐世保市）
- 9 月 ・ 行方不明者捜索（台風 14 号）
- ・ 市町村合併により大分地域消防組合解散（9/30）

(2) 由布市消防本部の沿革

- 平成 17 年 10 月 ・ 挾間町・庄内町・湯布院町が合併し由布市となる。
・ 由布市消防本部発足（職員総数 56 名）
- 平成 18 年 3 月 ・ 高規格救急車導入（由布署）
・ 救助工作車導入（由布署）
- 4 月 ・ 大分県消防長会春季総会（由布市挾間町中門記念館にて開催）
- 6 月 ・ 初期消火協力者表彰
- 7 月 ・ 九州地区消防技術大会出場（宮崎市）
- 8 月 ・ 全国消防技術大会初出場（北海道）
- 9 月 ・ 第 3 回救急医療・消防連携大規模演習（庄内町 多目的広場）
・ 高速自動車道総合防災訓練実施
- 10 月 ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- 11 月 ・ 由布市危険物安全協会創立 30 周年記念式典実施
- 平成 19 年 4 月 ・ 消防職員 4 名採用（職員総数 60 名）
・ 条例改正により職員定数 65 名となる
- 7 月 ・ 九州地区消防技術大会出場（北九州市）
- 10 月 ・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（中津市）
- 平成 20 年 4 月 ・ 消防職員 4 名採用（職員総数 60 名）
・ 消防職員 2 名退職
- 6 月 ・ 土砂災害総合訓練（湯布院町）
- 7 月 ・ 九州地区消防技術大会出場（沖縄県）
- 9 月 ・ 第 63 回国民体育大会行啓警備（チャレンジ！おおいた国体）
- 10 月 ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- 11 月 ・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練参加（長崎県佐世保市）
- 12 月 ・ 水槽付ポンプ自動車更新（湯布院出張所）
- 平成 21 年 3 月 ・ 大分県防災航空隊出向（1 名）
・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名派遣（県立病院）
・ 湯布院町塚原林野火災（死傷者 7 名）
・ 消防職員 4 名退職
- 4 月 ・ 消防職員 11 名採用（職員総数 65 名）
- 5 月 ・ 大分県防災航空隊派遣職員殉職
- 9 月 ・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
- 11 月 ・ 高規格救急車導入（湯布院出張所）
・ 緊急援助隊九州ブロック合同訓練参加（佐賀県）
- 平成 22 年 3 月 ・ 消防職員 8 名退職
- 4 月 ・ 消防職員 4 名採用（職員総数 61 名）
- 5 月 ・ 薬剤投与研修 1 名（九州研修所）
・ 由布市内一斉防災パトロール
・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
- 7 月 ・ 九州地区消防救助技術大会出場（大分市）
- 8 月 ・ 薬剤投与研修 1 名（九州研修所）
- 9 月 ・ 山岳救助投入訓練（由布岳）
- 10 月 ・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（鹿児島県）
・ 別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）

- ・第12回全国消防長会警防防災委員会開催（湯布院）
- 11月・高速自動車道等総合防災訓練（大分県消防学校）
- 平成23年1月・救急救命士気管挿管病院実習1名（大分県立病院）
- 2月・消防庁舎等建設委員会
- 3月・東北地方太平洋沖地震へ緊急消防援助隊派遣（岩手県）
- ・消防職員4名退職
- 4月・職員1名市役所と人事交流、消防吏員3名採用（職員総数60名）
- ・薬剤投与研修1名（九州研修所）
- 10月・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎県）
- ・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
- 平成24年3月・消防職員3名退職
- 4月・消防職員4名採用（職員総数62名）
- 11月・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（熊本県）
- ・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
- 平成25年2月・水槽付ポンプ自動車更新（庄内出張所）
- 3月・消防職員3名退職
- 4月・消防職員5名採用（職員総数63名）
- 11月・日本損害保険協会より高規格救急車寄贈（庄内出張所）
- 平成26年3月・消防職員1名退職
- 4月・消防職員4名採用（職員総数65名）
- 7月・少年消防クラブ消防学校体験入学
- 9月・由布市新消防庁舎建設工事起工式
- 10月・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
- 平成27年3月・消防職員3名退職
- 4月・条例改正により職員定数71名となる
- ・消防職員6名採用（職員総数68名）
- 5月・救急救命士気管挿管病院実習1名（三愛メディカルセンター）
- 6月・警察消防合同防災警備訓練
- 8月・全国消防救助技術大会出場（兵庫県）
- ・救急救命九州研修所1名入校
- 10月・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
- ・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（大分県佐伯市）
- 11月・消防本部・署新庁舎運用開始・通信指令システム導入
- ・湯布院出張所新庁舎運用開始
- 平成28年3月・消防職員7名退職
- 4月・消防職員10名採用（職員総数70名）
- ・熊本・大分地震で熊本へ緊急消防援助隊派遣（救助工作車）
- ・由布市で震度6弱を観測
- 5月・庄内出張所改築移転運用開始
- 6月・警察消防合同防災警備訓練
- 7月・消防職員1名退職
- 9月・救急救命九州研修所1名入校
- 10月・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）
- 11月・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（長崎県）

- ・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
- 12 月 ・ 由布市危険物安全協会創立 40 周年記念式典実施
- ・ 高規格救急車更新（本署）
- 平成 29 年 4 月 ・ 消防職員 2 名採用(職員総数 71 人)
- 5 月 ・ 指導救命士研修所 1 名入校
- 6 月 ・ 警察消防合同防災警備訓練(由布市消防本部)
- 7 月 ・ 大分県常備消防相互応援協定による災害出動（佐伯市）
- 9 月 ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- 10 月 ・ 別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（伽藍岳）
- 11 月 ・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（佐賀県）
- ・ 高圧ガス輸送車両等防災訓練
- ・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
- 平成 30 年 3 月 ・ 消防職員 2 名退職
- 4 月 ・ 消防職員 1 名採用(職員総数 70 人)
- ・ 救急救命東京研修所 1 名入校
- ・ 大分県常備消防相互応援協定による災害出動（中津市）
- 6 月 ・ 警察消防合同防災警備訓練(大分県消防学校)
- 7 月 ・ 九州地区消防救助技術指導会出場（大分市）
- ・ 緊急消防援助隊災害出動（広島県安芸郡坂町）
- 10 月 ・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
- ・ 高規格救急車更新（湯布院出張所）
- 11 月 ・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（鹿児島県）
- 12 月 ・ 平成 30 年度大分県消防大会（はさま未来館）
- 平成 31 年 3 月 ・ 消防職員 5 名退職
- 4 月 ・ 消防職員 4 名採用
- 令和元年 7 月 ・ 警察・消防合同防災警備訓練
- ・ 別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）
- 9 月 ・ 救急救命九州研修所 1 名入校
- ・ 大分県総合防災訓練
- 11 月 ・ 全国女性消防操法大会 ひばりこども園女性消防隊出場
- ・ 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（宮崎県）
- ・ 大分県国民保護共同図上訓練
- 令和 2 年 3 月 ・ 大分県における消防指令業務の共同運用について合意
- ・ 消防職員 2 名退職
- 4 月 ・ 消防職員 2 名採用
- 7 月 ・ 豪雨災害により熊本県へ緊急消防援助隊派遣
- ・ 花合野川・大分川の行方不明者(5 名)捜索
- 10 月 ・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
- 12 月 ・ 大分県域消防指令業務の共同運用に関する基本協定書締結
- 令和 3 年 1 月 ・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（大分大学医学部附属病院）
- 2 月 ・ 指令車更新
- 5 月 ・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
- 7 月 ・ 救急救命士気管挿管病院実習 1 名（大分大学医学部附属病院）
- 9 月 ・ 救急救命九州研修所 1 名入校

		・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）
10 月		・警察消防合同防災警備訓練（大分県警察学校）
令和 4 年 3 月		・水槽付消防車更新（本署）
		・消防職員 1 名退職
4 月		・消防職員 2 名採用
5 月		・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
6 月		・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（大分大学医学部附属病院）
9 月		・救急救命九州研修所 1 名入校
10 月		・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）
11 月		・第 45 回全国育樹祭お成り対応
令和 5 年 3 月		・指揮車更新
		・消防職員 1 名退職
4 月		・条例改正により職員定数 75 名となる
		・消防職員 1 名採用
5 月		・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
6 月		・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（大分大学医学部附属病院）
9 月		・救急救命九州研修所 1 名入校
10 月		・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）
11 月		・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（福岡県）
令和 6 年 4 月		・消防職員 1 名採用（職員総数 74 名）
5 月		・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
		・おおいた消防指令センター職員出向
7 月		・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（大分大学医学部附属病院）
		・由布市消防通信指令システムおおいた消防指令センターへ切替
9 月		・警察消防合同訓練（大分県消防学校）
10 月		・おおいた消防指令センター本運用開始
11 月		・別府市、由布市消防本部合同山岳救助訓練（由布岳）
		・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（長崎県）
		・一日消防官および幼年消防クラブ防火パレード
令和 7 年 3 月		・消防職員 2 名退職
4 月		・消防職員 2 名採用
5 月		・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（三愛メディカルセンター）
		・救急救命士気管挿管病院実習 1 名（大分大学医学部附属病院）
		・由布市、別府市消防本部 2 署合同山岳救助訓練（倉木山）
6 月		・大分県総合防災訓練（図上）
		・警察消防合同訓練（庄内町小野屋 河川敷）
7 月		・九州地区消防救助技術指導会出場（沖縄県消防学校）
8 月		・アドレナリン自己注射処置拡大に関する実証事業開始
		・救急救命九州研修所 1 名入校
		・全国消防救助技術大会出場（兵庫県立広域防災センター）
10 月		・マイナ救急実証事業開始
11 月		・緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練（大分県津久見市）